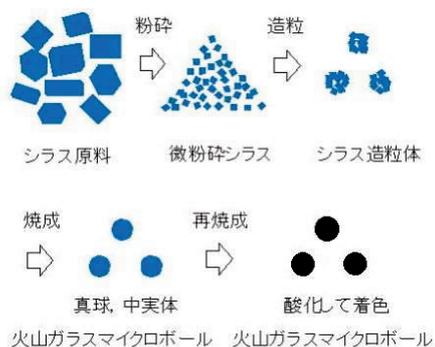


>>>> 特許登録「火山ガラスマイクロボールの製造方法」 <<<<

県と株式会社井川産業が共同で平成25年10月8日に特許出願した「火山ガラスマイクロボールの製造方法」が、平成30年6月1日に特許登録されました（特許第6343761号）。

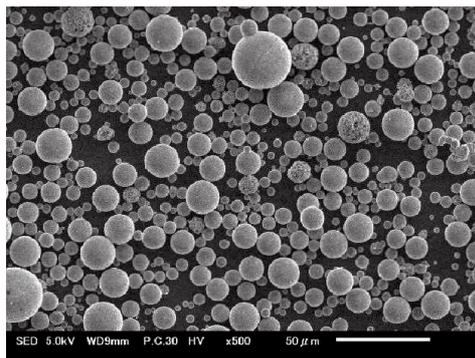
本発明は、火山ガラス質で角張った粒子を粉碎・造粒・焼成・分級（選別）の4工程により、数10μm前後の白色～赤褐色の火山ガラスマイ



火山ガラスマイクロボールの製造方法

クロボールを製造する方法です。火山マイクロボールは、中空のシラスバルーンと異なり、真球状の中実体であり比重が均一で強度も高く、分散性にも優れています。

自然素材であるシラスの特性を活かした化粧品分野への展開が期待されます。



火山ガラスマイクロボールの表面SEM写真(500倍)

>>>> 平成30年度ものづくりIoT研究会を開催 <<<<

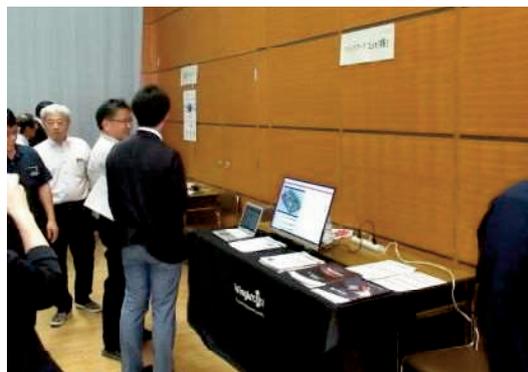
6月28日に、当センターで「平成30年度ものづくりIoT研究会」を開催し、82名が参加しました。ウイングアーク1st(株)営業・ソリューション本部BI事業戦略部長 大畠幸男氏の基調講演「IoTで鍵を握る可視化の実践と製造業の活用事例」では、製造業を中心とした最新の事例を元に具体的な活用イメージをデモンストレーションを交えて解説していただきました。次に(株)ITガード 代表取締役 前田 悟 氏の基調講演「進化するサイバー攻撃&セキュリティについて」



では、IoT等の先端技術を取り入れる上でリスクマネジメントとして重要であるサイバー攻撃の実態と最新の対策に関して解説していただきました。

県内企業による事例発表では、(株)A・R・P様、(株)ほいで様により、IoTに関連する自社の取組や製品の紹介していただきました。

また、発表した各社のIoT関連製品を展示し、参加した方々への情報提供や意見交換の場となりました。



>>>> 研究成果発表会を開催 <<<<

7月19日に当センターで平成30年度研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から125名の参加がありました。

今年の研究成果発表会では、県内企業との共同研究成果や平成29年度に終了した研究テーマなど、口頭6テーマ、ポスター4テーマの発表に加えて、県内企業等の皆様が当センターの技術支援等を利用して製品化した18の事例紹介や商品展示も行いました。

また、連携・交流を行っている神奈川県立産業技術総合研究所、宮崎県食品開発センターからも口頭発表が行われました。参加者からは、研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が行われました。

なお、発表会の概要をまとめた予稿集については、当センターのホームページ（刊行物）に掲載してありますので、ご覧ください。

(<https://www.kagoshima-it.go.jp/>)



口頭発表の様子



ポスター発表の様子

>>>> 九州・沖縄地域公設試及び産総研九州センター研究者合同研修会を開催 <<<<

8月23日～24日に当センターにおいて、「九州・沖縄地域公設試及び産業技術総合研究所（産総研）九州センター研究者合同研修会」が開催され、各所より13名の研修生が参加しました。

研修会を通じて九州・沖縄地域の研究活動における広域連携の推進を目的に経済産業省施策の紹介、コミュニケーション実習、企業による講演会、当センター職員との意見交換が行われました。参加者からは、今後の製品開発において大変参考になったと好評でした。

【講義】

①「日本の研究開発の現状と課題」

経済産業省

産業技術環境局研究開発課長 平井 淳生 氏

②「人と組織の成長を目指した経営革新活動」

(株)九州タブチ 代表取締役社長 鶴ヶ野 未央 氏

【実習】

「協働する強いチームのためのコミュニケーション実習」ー地域と研究を結びー

(有)ウーヴル 代表取締役 三宅 美穂子 氏

